# 令和３年度　入学生用　〔　公　民　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

| 教科 | 科目 | 単位数 | 種別 | 年次 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 公民 | 現代社会 | 2 | 必修科目 | 1年 | |
| 使用教科書 | 最新現代社会　新改訂315 | | | 担当者 | |

| | |
|---|---|
| 学習目標 | 社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |
| 学習方法 | ○自ら積極的に新聞やニュースにアクセスし、現代社会の諸事象・諸問題に主体的に接する。<br>○プリント・資料を活用し、授業以外の予習・復習を行う。事前学習の成果を受けて、授業に主体的に参加する。 |

学習評価

| 育成を目指す資質・能力 | | 育成を目指す資質・能力の評価内容 |
|---|---|---|
| 1 | 基盤的学力 | 文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。 |
| 2 | 問題発見・解決能力 | 問いを立て、解決に向かうことができる。 |
| 3 | 情報活用能力 | 情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。 |
| 4 | 主体的判断能力 | 物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。 |
| 5 | 協働力 | 他者を尊重し、協働することができる。 |
| 6 | 自律力 | 規範意識をもって自律的に行動することができる。 |
| 7 | 実践力 | 自ら考えて行動し実践することができる。 |
| 8 | 自己認識力 | 自分の思考を客観的に捉えることができる。 |

以上の観点をふまえ、
定期考査の成績、授業課題の取り組み状況、授業への参加態度などから総合的に評価する。

担当者から

人間の尊重と科学的な探求に基づいて、広い視野に立って、現代社会と人間について理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに、人間としての在り方、生き方について考え学び良識ある人として必要な能力と判断と態度を育てる。

| 月 | 大単元 | 単元（題材） | 学習内容 | 重点評価事項(資質・能力) | | | | | | | | 単元（題材）の評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | |
| 4 | 第1 部私たちの生きる社会 | 第1章 地球環境問題 | 1破壊される地球(1)(2) | ○ | ○ | ○ | | | | | | 地球の環境問題について意欲的に考察する | 授業プリント |
| 4 | | | 2自然の保護と再生 | ○ | | | ○ | | | | ○ | 人間社会の基盤となる地球環境の保全保護に多くの課題があることを理解する | 確認プリント |
| 4 | | 第2章 資源・エネルギー問題 | 1限りあるエネルギーと開発・利用 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 限りあるエネルギー資源をどのように開発・利用していくかを考察する | |
| 4 | | | 2原子力と再生エネルギー | ○ | ○ | ○ | | | | | | 原子力と再生エネルギーの現状と今後の利用の在り方を理解する | 授業参加・発言・発表 |
| 4 | | | 3人口問題と食糧・水資源 | ○ | ○ | | | | | ○ | | 人口問題とそれに絡む食料や水資源に関心を持つ | ノート提出 |
| 4 | | 第3章 生命科学と情報技術の課題 | 1人間の生死と生命科学 | ○ | | ○ | | ○ | | | | 人間の生死に関わる問題と最新の生命科学（技術）の発展に関心を持つ | 定期考査 |
| 4 | | | 2遺伝情報と利用の諸課題 | ○ | ○ | | | | | | ○ | 生命科学の発展が今後の社会にどのような影響を与えていくかを考察する | |
| 4 | | | 3高度情報化社会と情報倫理 | ○ | | ○ | | | | ○ | | 人間社会の健全な発展に向けて最新技術の利用を理解する | |
| 4 | 第2部 現代社会と人間 | 第1章 自分らしく生きる | 1 青年期とは | ○ | | | ○ | | | | ○ | 青年期とはどのような特色があるのか関心を持つ | |
| 4 | 1 青年期と自己の形成 | | 2 自己形成の課題(1)(2) | ○ | | | ○ | | | | ○ | 青年期の自己形成の過程と課題、その後の生き方を考察する | |
| 4 | | | 3 職業生活と社会参加 | ○ | | | | | ○ | ○ | | 円滑な社会参加・生活を送るためにどうしたらよいのかを考察する | |
| 4 | | 第2章 人間として良く生きる | 1 哲学・宗教・科学と人間 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 哲学や宗教が人の思想形成にどんな影響を与えてきたかに関心を持つ | |
| 4 | | | 2 自由の実現／人間の幸福 | ○ | | | | ○ | | ○ | | 人の倫理観を理解し、主体的にな生き方について考察する | |
| 4 | | | 3 人間性の回復と他者の尊重 | ○ | ○ | | | ○ | | | | 思想史の成果が現代社会の形成に影響を与えていることを理解する | |
| 4 | | 第3章 日本人としての自覚 | 4 古代日本人の思想と仏教思想 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 古来からの日本人の思想形成過程に関心を持つ | |
| 4 | | | 2 外来思想の受容と日本の思想 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 古来からの日本人の思想形成過程に関心を持つ | |
| 5 | 2 現代の民主政治と日本国憲法 | 第1章 現代国家と民主政治 | 1 民主政治の成立・基本原理・課題 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 社会契約説と近現代政治体制の形成過程に関心を持つ | |
| 5 | | | 2 世界の主な政治制度 | ○ | ○ | | ○ | | | | | 世界各国の政治制度の特質理解し、各国の政治運営に関心を持つ | |
| 5 | | 第2章 日本国憲法の基本的性格 | 1 日本国憲法の成立・性格 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 日本国憲法の成立と平和・人権に関する精神に関心を持ち理解する | |
| 5 | | | 2 様々な権利と人権保障 | ○ | | | | | | ○ | ○ | 憲法成立の過程と内容を理解し、人権意識と保障を考察する | |
| 5 | | | 3 新しい人権 | ○ | ○ | | | | | | ○ | 社会の変遷と共に広がる人権について理解する | |
| 5 | | | 4 平和主義とわが国の安全 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 平和憲法のもと日米安保と自衛隊の在り方を考察する | |
| 6 | | | 5 こんにちの防衛問題 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 戦後の安全保障の推移と自衛隊と諸外国との関係を考察する | |
| 6 | | 第3章 日本の政治機構と政治参加 | 1 政治機構と国会 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 民主主義社会を実現する機構の意義と働きを理解する | |
| 6 | | | 2 行政権と公正な裁判 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 日本の政治制度に興味・関心を持つ | |
| 6 | | | 3 地方自治と住民福祉 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 政治参加の基本姿勢を学び公正・主体的な政治に関心を持つ | |
| 7 | | | 4 政党・選挙・世論 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 日本の政治制度を理解し、正しい政治の在り方を考察する | |
| 8 | 3 現代の経済社会と国民生活 | 第1章 現代の経済社会 | 1 経済社会／市場のしくみ／企業 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 経済社会の展開と仕組みに対して関心を持つ | |
| 8 | | | 2 経済成長と国民福祉 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 日本経済の成長と発展を理解し国民生活への影響を考察する | |
| 9 | | | 3 金融機関／日本の財政と租税と課題 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 民主社会を実現する経済社会の可能性を考察する | |
| 9 | | 第2章 日本経済の特質と国民生活 | 1 戦後の日本経済の推移と課題 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 戦後の豊かな生活を実現する日本経済の発展と課題を理解する | |
| 9 | | | 2 中小企業と農業 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 日本経済を支えてきた中小企業の現在と今後を考察する | |
| 10 | | | 3　公害防止と環境保全 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 日本経済優先からの公害発生と防止とこれからの環境保全を考察する | |
| 10 | | | 4 消費者問題／労働問題と雇用 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 消費者としての権利を理解し、労働環境をめぐる問題について考察する | |
| 10 | | | 5 社会保障の役割と課題 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 人権保障に根ざした健全な経済活動が豊かな人生の実現につながることに関心を持つ | |
| 11 | 4 国際社会と人類の課題 | 第1章 国際政治の動向 | 1 国際社会と国際法、人権保障 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 国際社会と国際法に関心を持ち、国際的な人権問題を考察する | |
| 11 | | | 2 国際連合と国際協力 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 国際協調と諸外国との協力・関係、取り組みを理解する | |
| 12 | | | 3 冷戦期と現代の国際関係 | ○ | ○ | | | | | | ○ | 国際平和の主体となる公正な判断・意見を持つ | |
| 12 | | | 4 核兵器／軍縮／国際平和と日本の役割 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 国際平和に対して今の日本にできる国際貢献を考察する | |
| 1 | | 第2章 国際経済の動向と国際協力 | 1 貿易と国際収支／外国為替市場 | ○ | ○ | ○ | | | | | | 日本と外国との経済取引と外貨売買の特徴としくみに関心を持つ | |
| 1 | | | 2 第二次世界大戦後の国際経済 | ○ | | ○ | | | | | ○ | グローバル経済の進展と諸相に関心を持つ | |
| 1 | | | 3 地域的統合の進展と今日の国際経済 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 地域的経済統合や自由貿易などの世界経済の進展と発展を考察する | |
| 2 | | | 4 発展途上国の諸問題 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 政治不安や経済債務・貧困に苦しむ発展途上国の現状を理解する | |
| 2 | | | 5 経済協力と日本の役割 | ○ | | ○ | ○ | | | | | 多くの問題を抱える発展途上国に対して日本が果たすべき役割を考察する | |
| 3 | 第3部 共に生きる社会をめざして | | 1 公正な貿易をめざして／持続可能な社会 | ○ | | ○ | | | | | ○ | 国際的な経済書課題で人権保障の立場から自らの役割を考察する | |